

平成28年度

太田小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 今野敦子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

震災前は児童数134名だったが、全国各地に避難し、現在51名となったが、小規模・少人数であることを生かした学校教育を進めている。兄弟のように仲の良い児童たちは『進んで学ぶ子ども』『思いやりのある子ども』『たくましい子ども』を目指し、学習・運動に励んでいる。今年度から3年間、相馬地方小学校教育研究会より理科の指定を受け、特に理科教育に力を入れている。

昨年10月末に耐震工事が完了し、図書室の壁や床が一新、書架の配置替えと新しい書架の設置を行い、全体的に明るく楽しい雰囲気の中、読書を楽しむ児童の姿が見られる。

今年度で学校図書館支援活動は4年目に入り、現支援員の担当は2年目となる。

平成28年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
5名	11名	6名	9名	6名	14名	51名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 木・金曜日 週2回

図書担当教員 江井智子先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 5,125点

学校図書館受入点数(3月末時点) 467点

うち 市費購入点数及び金額 115点(199,114円)

うち 寄贈資料点数 352点

2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 児童の文章読解力の向上。

1-2 課題 貸出時に混雑し、ブックランド委員会との読書企画等の準備時間が取りづらい。

1-3 課題 図書室で調べ学習を行う回数が少ない。

2-1 目標 おすすめ本の紹介文や読書感想文、読み聞かせ後の感想発表等で、本の内容を正しく理解し、表現できるようにする。

2-2 目標 貸出時間を有効に活用し、ブックランド委員会との共同企画を年3回以上行う。

2-3 目標 図書室を活用する機会が増えるよう環境づくりに努め、活用回数増加を目指す。

3 活動の方針

- ①文章の読解力の向上のため、毎週木曜日の昼休み終了後 15 分間を「読書の時間」とし、全学年へ順番に、支援員が読み聞かせ・ブックトーク等を行う（読み聞かせ等が当たっていない学年は、各自静かに本を読む学級読書の時間とする）。
- ②貸出できる時間を昼休みに加え、2 時間目終了後の休み時間も可能とすることで、貸出時の混雑を防ぎ、細やかな読書指導を行い、ブックランド委員との活動も合わせて行う。
- ③理科の研究校であることを踏まえ、4 類の図書の購入・配架の見直し・図書委員との理科クイズの作成等を行い、理科教育の環境作りに努める。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	ブックランド委員会活動内容	市立図書館との連携
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書担当教員との方針・スケジュールの確認 ・ 貸出カード作成 ・ 図書館オリエンテーション ・ ニュースキン文庫選書開始 ・ 学級文庫配本開始 ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織作り ・ 前期活動計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議① ・ 図書の借用開始
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出開始 ・ 課題図書の受入 ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出当番開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題図書の発注、納品
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースキン文庫選書終了 ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出返却受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議③ ・ ニュースキン文庫選書確認・発注終了
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースキン文庫の受入 ・ 学年別読み聞かせ等 ・ 1 学期貸出冊数集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出返却受付 ・ ニュースキン文庫の紹介 ・ 夏休み用貸出受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとしゃかんだより配布 ・ ニュースキン文庫納品終了
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出返却受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議③
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年別読み聞かせ等 ・ 理科読書推進活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期活動の反省 ・ 貸出返却受付 ・ 理科クイズの作成 	
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブックランド委員への読み聞かせ指導 ・ 読書週間企画 ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期活動計画作成 ・ 貸出返却受付 ・ 全校集会読み聞かせ練習 	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度新聞雑誌選定終了 ・ 市費購入図書選書終了 ・ 学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校集会読み聞かせ発表 ・ 貸出返却受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議④

12月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童参加型壁面飾り「クリスマス」 ・学年別読み聞かせ等 ・2学期貸出冊数集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却受付 ・クリスマス飾り作成 ・冬休み用貸出受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしゃかんだより配布
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月お楽しみ企画実施 ・市費購入図書の受入 ・学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市費購入図書選書確認・発注終了 ・学校図書館支援員会議⑤
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別読み聞かせ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市費購入図書納品終了 ・学校図書館支援員会議⑥
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業記念プレゼント作成 ・学級文庫返却 ・学年別読み聞かせ等 ・3学期貸出冊数集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却受付 ・後期活動の反省 	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4～5月

- ・貸出カード作り
- ・図書室廊下壁面飾り【4月】「ごにゆうがくご進学おめでとう」作成
- ・寄贈図書、新聞、雑誌の受入 ・図書の除籍
- ・教科書掲載図書への学年シール貼り…教科書掲載本コーナーを設置。⇒2-3 目標
- ・図書館オリエンテーション（1年・図書室の案内、借り方・返し方の説明、図書の貸出）
- ・図書室廊下壁面飾り【5月】「木とフラッグとくま」（運動会に対応）作成
- ・「マックスとかいじゅうたちのアゲインカードゲーム」（5月中旬より開始）

絵本『かいじゅうたちのいるところ』（モーリス・センダック／作・富山房）より考案。初めに箱の左穴から①ファーストカードを引き、次に右穴から②アゲインカードを引き、同じキャラクターが出たら「ラッキー」とするカードゲーム。（写真1）
- ・読み聞かせ等実施回数 合計19回（1年…6回、2年…5回、3年…2回、4年…3回、5年…1回、1・2年合同…1回、5・6年合同…1回）⇒2-1 目標

【事例1】クラスオリジナルの手遊び

2・3年生で行った手遊び「ここはてっくび」では、昨年度から引き続き、読み聞かせ開始時に、クラスの全メンバーの名前を呼ぶオリジナルバージョンで行うことで、クラス内に一体感が生まれ、より読み聞かせを楽しんでもらうことができた。

【事例2】体験型おはなし会

雑誌絵本「はるをみつけたよ」（平野恵理子 // 作・こどものとも年少版456号）や大型絵本「くものすおやぶんとりものちょう」（秋山あゆ子 // 作・福音館書店）などの春を感じる絵本を読んだ後、蝶々の切り絵を作るワークショップを行い、絵本の中の蝶々を手にしたような体験ができるようにした。（写真2）



写真1

児童たちに人気のアゲインカードゲーム



写真2

完成した蝶々を手に笑顔の3年生たち

6～7月

- ・寄贈図書、新聞、雑誌の受入 ・図書の除籍
- ・ものがたり見出し板作り…あ行～わ行ごとに色別で作成。⇒2-3 目標
- ・「はらぺこあおむしのトリプルえあわせ」（6月初旬より開始）

絵本『はらぺこあおむし』（エリック＝カール／作・偕成社）より考案。箱を上下左右に振り、3つのサイコロの絵を合わせる遊び。「名作シリーズおりがみ」でサイコロを3つ作り、3つに分かれた透明ケースを合わせて封印。児童は絵柄を合わせることに夢中である。

- ・「杉山亮ものがたりライブ」に合わせて、杉山亮氏の本を集めたコーナーを廊下に設置。
- ・4年国語「調べたことを整理して書こう『新聞を作ろう』」の導入として、「新聞の楽しみ方・読み方」の授業（●新聞とは何か●新聞の種類●新聞の数●新聞紙面の仕組み●5W1Hについて●新聞を楽しむには）を行った（約40分間）。

- ・ニュースキン文庫（ニュースキンジャパン(株)より50万円寄贈）の選書、受入⇒2-2 目標

今年度理科の研究校であることを踏まえ、理科関連の図書を中心に、国語の教科書掲載図書や古くなっていた伝記の差し替え、児童からのリクエストを参考に選書した。その中からブックランド委員がおすすめの本を1冊選んでその本に寄贈印を押し、読書タイムに全校児童の前で一人ずつ紹介した。※同団体から書架1台の寄贈を受けた。（写真3、4）



写真3

委員会で練習してからみんなの前で発表



写真4

キリンの形をしたかわいいラックが仲間入り。ニュースキン文庫のおすすめ本を並べて紹介。

- ・2年国語「本のわけかた・ならべかた」の学習で、図書室の書架を案内しながら説明。
- ・読み聞かせ等実施回数 合計11回（1年…5回、2年…1回、3年…1回、4年…1回、5年…1回、1・2年合同…1回、4・5年合同…1回）⇒2-1目標

【事例3】4・5年ブックトーク『石』にまつわるエトセトラ（約40分間）

天然石に興味がある児童が多かったため、「石」をテーマにしたブックトークを実施。

紹介または読み聞かせした図書	紹介内容・児童反応等
①「鉱物・岩石」（学研の図鑑7）	誕生石を紹介しながら、実際に天然石を見せた。
②「石の卵」（たくさんのふしぎ傑作集） 山田英春//文・写真（福音館書店）	「セプテリア」というドラゴンの卵のような石を紹介。福島県にも存在することに、大いに興味を持ったようだ。
③「アレクサンダとぜんまいねずみ」 レオ＝レオニ//作（好学社）	この絵本を元に作った占い遊び「アレクサンダのこいしさがし」を改めて説明し、絵本の中の「願いがかなう紫色の小石」について紹介した。※
④「あたまにつまった石ころが」 ジェイムズ・スティーブソン//絵 （光村教育書店）	子どもの頃から石が大好きで、最後には石の博物館の館長になった人物の実話を紹介。「みんなの好きなものは何ですか?」「将来の夢は?」などの質問をし、答えてもらった。
⑤「ロバのシルベスターとまほうの石」 ウィリアム・スタイグ//作（評論社）	1冊読み聞かせ。石になってしまったロバのシルベスターが元に戻るか、真剣に聞き入っていた。
⑥「ハリーポッターと賢者の石」 J. K. ローリング//作（静山社）	次の日、映画版がテレビで放映されることもあり、映画とともに原作を楽しむことを提案した。

※昨年度から引き続き行っている手作りの占い遊び。いろいろな色のホイル折紙で作った小石を箱から1つ引かせ、「紫は願いがかなう」「赤は健康運がいい」等、その日の運勢を占う。

8～10月

- ・「しろ@くろのパンダです。」（8月下旬より開始）

絵本『しろがくろのパンダです。』（平田昌広/作・平田景/絵・国土社）より考案。助詞が入れ換わると意味が変わることの面白さを伝える絵本。その絵本に出てくるパンダをイメージして切り絵で作ったカードを並べ、ルーレットを回し、当たった助詞を②に入れ、当てはまるパンダを選ぶゲーム。楽しみながら助詞を学ぶことがねらい。

- ・「世界のともだち」全36巻入荷特別企画「よんでGO!!世界旅行へ」（8月下旬より開始）

ニュースキン文庫に入れた「世界のともだち」（偕成社）を知ってもらうために企画。36枚の国旗カードから1枚引き、その引いた国の「世界のともだち」を読もうというもの。（写真5）※36カ国以外の国旗カードも別に作成。児童は国旗クイズを出し合っていた。

- ・4類のラベル変更作業（旧ラベルはがし・正しい分類番号の付与・新ラベルの貼り付け）



写真5

4年生は学級文庫を選ぶ際に使用

- ・3年国語で調べ学習を実施→図書室で1人ずつ発表し、支援員が最後に講評。⇒目標2-3
- ・ブックランド委員が作る「理科クイズの館」（9月下旬より開始）

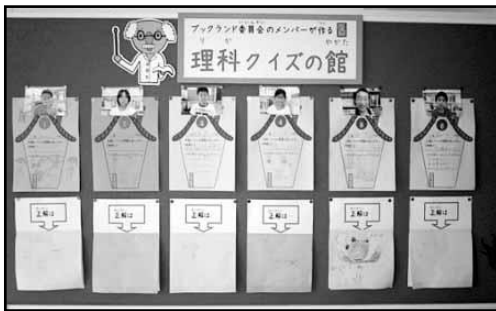


写真6 クイズの館の住人をイメージ

ブックランド委員6名がそれぞれ理科関連の初級・中級・上級問題を作成。お家を表した用紙に問題を記入し、廊下に掲示した。2枚目の「正解は…」をめくると、答えとクイズに関連した図書の紹介があり、図書室へと案内するように工夫。出題者の顔写真を貼って、誰のクイズかわかるようにした。⇒目標2-2（写真6）

※支援員は「野菜の花クイズ」を作成・掲示。

- ・図書室廊下壁面飾り【秋】「ハロウィン～おばけやしきにコウモリやかぼちゃを飾って～」
- ・読み聞かせ等実施回数 合計16回（1年…7回、2年…4回、3年…1回、4年…1回、5年…1回、6年…1回、就学児検診待機時…1回）⇒2-1目標

11月～12月

- ・ブックランド委員への読み聞かせ指導（全校集会で読み聞かせ）⇒2-2目標
- ・市費購入図書の選書、受入
- ・11月読書月間企画「読書クイズ」

学年別に国語の教科書関連作家等の図書から、本文を読まないで答えが分からないクイズを作成し、図書とともに廊下に設置（1年…日本の昔話『かにむかし』、2年…アーノルド・ローベル『ふたりはいつしょ』より「クッキー」、3年…外国の昔話『長ぐつをはいたねこ』、4年…新美南吉『がちょうのたんじょうび』より「去年の木」、5年…椋鳩十『月の輪ぐま』より「片耳の大シカ」、6年…宮沢賢治『どんぐりと山猫』）。正解者には児童から人気のある戦国武将シールか宝石シールを、不正解者には折り紙で作ったミニブックをプレゼントした。ブックランド委員は、答え合わせ・放送での答えの発表・シール配りを担当した。⇒2-2目標 ※解答者…38人

- ・図書室廊下壁面飾り【冬】「ハートのアドベントカレンダー」

図書室廊下の掲示板に、折り紙で作ったハートの封筒をツリーの形に並べて貼ったアドベントカレンダーを作った。そのハートの中には、おすすめのクリスマス本を紹介したミニブックやサンタ・トナカイ等のクリスマスグッズを折り紙で作って入れた。楽しそうに中身を確認する児童や折り方を教えてほしいと言ってくる児童がいて、とても好評であった。ツリーの横には児童が作成した雪の結晶の折り紙を飾った。（写真7）



写真7 様々な折紙で華やかに

- ・中央図書館見学（2年）

「図書館にはみんなが気持ちよく利用するためのルールやマナーがあることや施設を支えている人がいることが分かる」ということがねらい。移動図書館車でインタビューを実施。

後日、児童の図書館見学の感想やお礼文をまとめた冊子をいただいた。

- ・歴史クイズ（戦国編）、水の生きもの漢字クイズの実施（特に4年生と6年生から人気）
- ・1月お正月プレゼント企画「**戦国武将 鳥家紋お守り**」と「**おんな城主直虎 姫守り**」
 来年の干支「酉」に合わせ、戦国武将で鳥が入っている家紋を貼った折紙のお守りの作成を開始。本を借りた児童にプレゼントする。女子児童に配慮し、来年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」の姫守りも作成。児童により歴史に興味を持ってもらうことがねらい。
- ・図書館だより第1号発行（2学期の図書室の様子・ブックランド委員会活動・読書クイズ）
- ・読み聞かせ等実施回数 合計11回（1年…5回、2年…1回、3年…1回、4年…1回、5年…1回、6年…1回、1・2年合同…1回）⇒2-1目標 ※4月～3月…合計77回

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 562点/年

6 学校図書館貸出実績

（1）年間貸出点数

① 個人貸出点数

（単位：点）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総合計
年間合計	273	465	241	406	177	751	2,313
一人あたり	54.6	42.3	40.2	45.1	29.5	53.6	45.4
一人あたりの昨年度比	197%	108%	197%	215%	85%	186%	155%

※1 1人2冊まで1週間の貸出、貸出日は木曜と金曜の週2回。

※2 夏休み用貸出と冬休み用貸出のみ1人3冊まで貸出可。

② 学級文庫貸出点数

（単位：点）

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	128	86	202	128	127	27	698

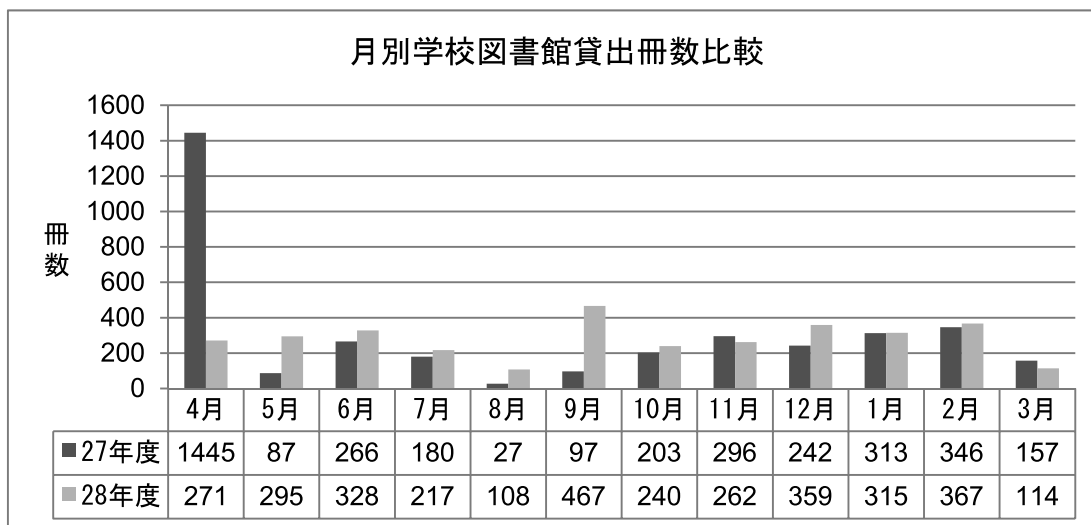
③ 調べ学習等貸出点数

（単位：点）

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	89	60	96	47	10	30	332
昨年度比	278%	545%	218%	671%	48%	91%	224%

（2）学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



今年度は昨年度に比べ、4月を除けば、全体的に増加傾向にあると言える（昨年度4月の貸出冊数が多い理由は、耐震工事による従来図書室の利用停止に伴い、学級文庫の数を大幅に増加させたことによる）。勤務2年目となり、児童の読書力や読書傾向等を把握することができ、リクエストがなくても、その児童が望んでいる図書を市立図書館から借用して提供することにより、児童の読書欲を満たすことに成功していると考えられる。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 3-1 読み聞かせ後、低学年には印象に残った点を具体的に述べるように促し、中学年以上には主人公の気持ちを考えさせ、述べさせる等の工夫をすることで、文章を読み説く力を養うきっかけを与えた結果、感想の述べ方に上達が見られた。
- 3-2 支援員の勤務曜日変更（委員会活動曜日に）や昼休み貸出後の時間を活用し、ブックランド委員との共同企画として、①ニュースキン文庫の受入・本紹介、②理科クイズ、③全校生への読み聞かせ（指導）の3回という目標回数を達成した。
- 3-3 図書室を活用する機会が増えるような環境作りとして、活用頻度の高い4類図書の正確な分類番号の付与・ラベル変更作業を進め、4類図書の90%程度まで完了している。この作業は、地域ボランティアの方の協力によるところが大きい。
また、教科書掲載図書の購入を進めた結果、調べ学習等での活用に役立った。特に3年生の図書室利用が多く、児童の発表にも参加できたことがよかった。

(2) 来年度に向けた課題

- 4-1 ブックランド委員が作った「理科クイズ」を実際に何人の児童がチャレンジしたかが把握しづらかったため、委員会活動での解答用紙や景品作成等の工夫を考える。
- 4-2 ブックランド委員以外の児童にもおすすめ本の紹介等に参加する機会を作る。
- 4-3 図書室を調べ学習等で活用する学年と活用しない学年とで差があるため、より多くの学年が学習で図書室を利用できるよう引き続き環境作り・情報発信を行う。